

令和 5 年 6 月 2 日現在

機関番号：32680  
研究種目：基盤研究(A)（一般）  
研究期間：2017～2021  
課題番号：17H00988  
研究課題名（和文）住宅市場における世代間・地域間ミスマッチの解明：パネルデータによる経済分析  
  
研究課題名（英文）Unraveling the Intergenerational Regional Mismatch in the Housing Market:  
Economic Analysis using Panel Data  
  
研究代表者  
瀬古 美喜（Seko, Miki）  
  
武蔵野大学・経済学部・名誉教授  
  
研究者番号：60120490  
交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 37,460,000円

研究成果の概要（和文）：住宅市場における世代間・地域間のミスマッチの問題の解明を目的として、家計を対象とする大規模なパネル調査の実施と住宅市場におけるミスマッチに関連する家計行動の動学的分析を行ない、遺産動機と家計の転居・改修行動、住宅資産と高齢者の消費行動、高齢者による既存住宅ストックの低利用等の観点より、ミスマッチの実態や課題を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義  
住宅市場における世代間・地域間のミスマッチの問題の解明を目的として、家計を対象とする大規模なパネル調査の実施と住宅市場におけるミスマッチに関連する家計行動の動学的分析を2つの大きな柱とする活動を行ない、実施した調査データの提供体制を整え、かつ得られた分析結果を国内外に広く発信した。

研究成果の概要（英文）：In Japan's housing market, the mismatch between housing stock and housing needs across generations and regions has become a major problem. To better understand the problem, we have constructed high-quality panel data by tracking the same households over a long period and conducted a dynamic analysis of household behavior. We revealed the detail of mismatch and identified the issues associated with relationships between bequest motives and mobility and renovation decisions, housing assets and old people's consumption, and old people's underutilization of housing stock.

研究分野：社会科学、経済学

キーワード：経済学 応用ミクロ経済学 住宅市場 パネルデータ 相続 家計資産の世代間相関

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

わが国における戦後の住宅政策は、これまで住宅ストックの量的拡充を中心に行われてきた。しかしながら、近年の人口減少および高齢化の進展によって、その政策的関心は住宅の質の向上や既存住宅ストックの有効活用などにシフトしつつある。

こうした現状の背景には、住宅市場における世代間・地域間のミスマッチの問題がある。例えば、わが国の住宅市場は、諸外国と比較して転居率が低く、かつ中古住宅市場の規模が極めて小さいことが知られている。このことは、家計のライフステージにあった円滑な住み替えを阻害し、結果として世代ごとに異なる住宅ストックと居住ニーズのミスマッチを生み出している可能性がある。

また、適切な維持・管理が行われていない空き家等の増加は、防災・衛生・景観の悪化などを通じて周辺の生活環境に悪影響を及ぼすことが懸念されているが、その水準には大きな地域差が存在する。

こうした住宅市場におけるミスマッチが、家計の合理的な選択の結果なのか、制度的な要因に起因するのを見極めることは、人口減少下における住宅ストックの有効活用という現状の政策的課題に対して、きわめて大きな示唆を与えられよう。

## 2. 研究の目的

第一の目的は、住宅市場におけるミスマッチの問題に対する統一的な分析枠組みを提示し、それに基づく実証研究・政策分析を行うことにある。具体的には、住宅市場における取引費用の存在を考慮した動学的住宅需要を分析することで、住宅市場におけるミスマッチの問題を検討する。家計の動学的住宅需要を推計した研究を行なうために、長期にわたる家計パネル調査を実施・整備することが、本研究の第二の目的となる。

## 3. 研究の方法

本研究では、住宅市場におけるミスマッチの問題に対する統一的な分析枠組みを提示し、さらに、ライフサイクルを通じた家計の長期的な住宅需要を把握するための新たな調査モジュールを追加する（「第一世代住宅モジュール調査」）。これに加え、JHPSの調査対象者の子ども世代を対象とした新規調査を実施する（「第二世代住宅調査」）。そして、これらのデータを用いて、実証研究、政策分析を遂行する。

## 4. 研究成果

本研究では、住宅市場における世代間・地域間のミスマッチの問題の解明を目的として、家計を対象とする大規模なパネル調査の実施と住宅市場におけるミスマッチに関連する家計行動の動学的分析を2つの大きな柱とする活動を行なった。

(1) パネル調査の実施およびデータ整備 分析の基盤となる家計パネル調査に関しては、研究グループが実施および分析に携わってきた「日本家計パネル調査」(Japan Household Panel Survey, JHPS)のサンプルを対象として、ライフサイクルを通じた家計の長期的な住宅需要を把握するための新たな調査モジュールを開発した（「第一世代住宅モジュール調査」）。当該調査は、2018年1月に第1回調査を行い、その後同一対象を継続して調査した。各年の調査では、住宅の増改築・リフォーム履歴、住宅取得時の情報収集活動（2018年）、住宅および金融資産の世代間移転、近隣住環境に対する満足度（2019年）、現住居以外の所有と利用意向（2020年）などを、それぞれ中心的に調査し、次項で述べる実証分析に活用した。これに加え、2019年には、JHPSの調査対象者の子ども世代を対象とした新規調査（「仕事と生活についての第二世代調査」）を、慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センターと協力して実施し、親子間の住宅需要の連関や住宅資産の世代間継承などを分析することができる調査データを整備した。

(2) 家計行動の動学的分析 (1)で述べたデータなどを利用した研究成果としては、遺産動機と家計の転居・改修行動(隅田・瀬古・吉田, 2019)、高齢者による既存住宅ストックの低利用 (Seko, Sumita, and Yoshida, 2019)、世代間資産移転と子どもの住宅取得 (石野, 2019) および資産蓄積 (石野・直井・瀬古・隅田, 2020)、住宅資産と高齢者の消費行動 (Iwata and Yukutake, 2020)、住宅取得時の情報収集行動と居住満足度 (新倉・直井・瀬古, 2020)、親子二世にわたるパネルデータを用いて家計資産の世代間相関の現状とその規定要因を分析した研究 (Naoi, Seko, Sumita, Ishino 2021)、介護施設と高齢者世帯の転居 (Sumita, 2021) などが挙げられる。また、2019年に開催された Western Economic Association International 15th International Conference において、“Issues in Population Aging and Housing Market” と、“Issues in House Price Movements” という2つの特別セッションを組織し、進行中の研究成果の報告を行った。

住宅税制度、住宅金融制度や住宅法制度などによる制度的な住宅市場の阻害要因が住宅需要行動や住宅価格に及ぼす影響などを、主に個票パネルデータに基づいて分析したこれまでの研究を、洋書 (Seko Miki “Housing Markets and Household Behavior in Japan” Advances in Japanese Business and Economics Series Volume 19, Springer Singapore, DOI:10.1007/978-

981-13-3369-9, ISBN 978-981-13-3368-2, 2019)として刊行し、海外への情報発信を行なった。さらに、これまでの研究成果や、受賞歴(詳細は、後述の「その他」参照)などを掲載したホームページを作成して、武蔵野大学のプラットフォーム上に、日本語版が [https://www.musashino-u.ac.jp/gasr\\_research/](https://www.musashino-u.ac.jp/gasr_research/)、英語版が [https://www.musashino-u.ac.jp/gasr\\_research/en/](https://www.musashino-u.ac.jp/gasr_research/en/) という形で、公開した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計90件（うち査読付論文 51件 / うち国際共著 5件 / うちオープンアクセス 34件）

1. 著者名 Kawabata, M., Naoi, M., &, Yasuda, S	4. 巻 3(1)
2. 論文標題 Earthquake risk reduction and residential land prices in Tokyo	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Spatial Econometrics	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s43071-022-00020-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Sumita Kazuto, Nakazawa Katsuyoshi, Kawase Akihiro	4. 巻 53
2. 論文標題 Long-term care facilities and migration of elderly households in an aged society: Empirical analysis based on micro data	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Housing Economics	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jhe.2021.101770	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Naito Tohru, Ogawa Hikaru	4. 巻 29
2. 論文標題 COVID-19, self-restraint at home, and pregnancy: evidence from Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Applied Economics Letters	6. 最初と最後の頁 1234-1237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504851.2021.1922584	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Daisuke Miyakawa, Chihiro Shimizu, and Iichiro Uesugi	4. 巻 forthcoming
2. 論文標題 Do Foreign Buyers Pay More Than Domestic Buyers? Evidence from International Transaction-Level Data	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Journal of Real Estate Finance and Economics	6. 最初と最後の頁 1-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Michio Naoi, Miki Seko, Kazuto Sumita and Takuya Ishino	4. 巻 IPSE DP 2021F001
2. 論文標題 Intergenerational Correlation of Household Wealth: Evidence from the JHPS Second-Generation Supplement	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 "Institute of Political Science and Economics" Musashino University, IPSE Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 瀬古美喜	4. 巻 第40巻第6号 (通巻475号)
2. 論文標題 住宅市場における住み替えの促進に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊不動産流通 12月号	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木雅智・樋野公宏・武藤祥郎	4. 巻 124
2. 論文標題 長期空き家の外部効果の測定：神奈川県横須賀市を対象に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 RETIO	6. 最初と最後の頁 5-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 李ヨングン・新雄太・鈴木雅智・矢吹剣一・山下英和・板垣勝彦・藤岡泰寛	4. 巻 113
2. 論文標題 空き家対策の現在：単なる『人の住んでいない家』が管理不全の『特定空き家』とならないための工夫 (学術講演会報告)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市住宅学	6. 最初と最後の頁 143-152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsunao Okumura and Emiko Usui	4. 巻 694
2. 論文標題 Pension Expectations and Household Portfolio Choice of the Elderly in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 一橋大学世代間問題研究機構 ディスカッション・ペーパー	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miki Seko	4. 巻 21
2. 論文標題 A Review of "Housing in post-growth society: Japan on the edge of social transition", By Yosuke Hirayama and Misa Izuhara	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Housing Policy	6. 最初と最後の頁 153 ~ 155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/19491247.2021.1877386	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Baba Hiroki, Asami Yasushi	4. 巻 49
2. 論文標題 Cost-efficient factors in local public spending: Detecting relationships between local environments, population size and urban area category	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Environment and Planning B: Urban Analytics and City Science	6. 最初と最後の頁 241 ~ 258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/23998083211003883	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taima Masahiro, Asami Yasushi	4. 巻 102
2. 論文標題 Determinants and policies of native metropolitan young workers' migration toward non-metropolitan areas in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cities	6. 最初と最後の頁 102733 ~ 102733
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cities.2020.102733	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Keisuke Kawachi, Hikaru Ogawa, and Taiki Susa	4. 巻 70
2. 論文標題 Endogenous capital supply and equilibrium leadership in tax competition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Review of Economics and Finance	6. 最初と最後の頁 622-634
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.iref.2020.06.031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Masatomo, Asami Yasushi, Shimizu Chihiro	4. 巻 52
2. 論文標題 Housing rent rigidity under downward pressure: Unit-level longitudinal evidence from Tokyo	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Housing Economics	6. 最初と最後の頁 101762 ~ 101762
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jhe.2021.101762	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwata Shinichiro, Yukutake Norifumi	4. 巻 37
2. 論文標題 Housing wealth and consumption among elderly Japanese	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Housing Studies	6. 最初と最後の頁 376 ~ 392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/02673037.2020.1807470	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Eiji Fukasawa, Takeshi Fukasawa, Hikaru Ogawa	4. 巻 67
2. 論文標題 Intergovernmental competition for donations: The case of the "Furusato Nozei" program in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Asian Economics	6. 最初と最後の頁 101178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.asieco.2020.101178	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroki Baba, Yasushi Asami	4. 巻 46(3)
2. 論文標題 Municipal population size and the benefits of inter-municipal cooperation: panel data evidence from Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Local Government Studies	6. 最初と最後の頁 371-393
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03003930.2019.1624257	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Michio Naoi, Keiichi Sato, Yozo Tanaka, Hiroaki Matsuura and Shingo Nagamatsu	4. 巻 41
2. 論文標題 Natural hazard information and migration across cities: evidence from the anticipated Nankai Trough earthquake	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Population and Environment	6. 最初と最後の頁 452-479
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki, M., Asami, Y.	4. 巻 4(3)
2. 論文標題 Shrinking housing market, long-term vacancy, and withdrawal from housing market	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Asia-Pacific Journal of Regional Science	6. 最初と最後の頁 619-638
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41685-020-00159-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Usui, Yasushi Asami	4. 巻 43(3)
2. 論文標題 Size Distribution of Building Lots and Density of Buildings and Road Networks: Theoretical Derivation Based on Gibrat's Law and Empirical Study of Downtown Districts in Tokyo	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Regional Science Review	6. 最初と最後の頁 229-253
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0160017619826270	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Masatomo Suzuki, Yasushi Asami	4. 巻 48(4)
2. 論文標題 Tenant Protection, Temporal Vacancy and Frequent Reconstruction in the Rental Housing Market	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Real Estate Economics	6. 最初と最後の頁 1074-1095
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1540-6229.12205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 直井道生・瀬古美喜・隅田和人・石野卓也	4. 巻 DP2020-011
2. 論文標題 家計資産の世代間相関：JHPS二世代付帯調査を用いた実証分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Keio University, Panel Data Research Center, PDRC Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 瀬古美喜	4. 巻 オンライン
2. 論文標題 幸せな暮らしには、ライフステージに合った住居が必要です	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 いい引越し.com(株式会社キュービック運営)『大学研究の現場から』	6. 最初と最後の頁 オンライン
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 瀬古美喜	4. 巻 夏季号(117)
2. 論文標題 高齢化社会と住宅市場 - 退職貯蓄パズルをめぐって -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊 住宅土地経済	6. 最初と最後の頁 2-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新倉博明・直井道生・瀬古美喜	4. 巻 34(3)
2. 論文標題 持ち家取得時の情報収集行動と住宅満足度	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本不動産学会誌	6. 最初と最後の頁 93-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石野卓也・直井道生・瀬古美喜・隅田和人	4. 巻 DP2020-005
2. 論文標題 親からの資産移転期待と子供の資産蓄積	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PDRC Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木雅智・新井優太	4. 巻 55(3)
2. 論文標題 物件レベルの資料請求量を用いた住宅市場の需給バランスの測定：首都圏中古戸建て住宅を対象に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1136-1142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.55.1136	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Komura Mizuki, Ogawa Hikaru, Ogawa Yoshitomo	4. 巻 83
2. 論文標題 Optimal income taxation when couples have endogenous bargaining power	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Economic Modelling	6. 最初と最後の頁 384 ~ 393
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.econmod.2019.09.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Masatomo, Asami Yasushi	4. 巻 56
2. 論文標題 Shrinking metropolitan area: Costly homeownership and slow spatial shrinkage	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Urban Studies	6. 最初と最後の頁 1113 ~ 1128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0042098017743709	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Seko Miki, Sumita Kazuto, Yoshida Jiro	4. 巻 ssrn.3496105
2. 論文標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SSRN Electronic Journal	6. 最初と最後の頁 1 ~ 52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2139/ssrn.3496105	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 瀬古美喜	4. 巻 70 (22)
2. 論文標題 わが国の住宅価格形成メカニズムと住宅金融制度の方向性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 週刊金融財政事情	6. 最初と最後の頁 34 ~ 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 隅田和人・瀬古美喜・吉田二郎	4. 巻 27 (3)
2. 論文標題 遺産動機と家計の転居・改修行動 -パネルデータによる分析-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 土地総合研究 2019年夏号	6. 最初と最後の頁 57 ~ 64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石野卓也	4. 巻 14
2. 論文標題 親の住居の相続期待と子供の住宅取得行動	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊個人金融	6. 最初と最後の頁 34～45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinichiro Iwata and Norifumi Yukutake	4. 巻 321
2. 論文標題 Housing inheritance, financial assistance, and reciprocal interdependence	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Working Paper, Faculty of Economics, University of Toyama	6. 最初と最後の頁 1～23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 行武憲史	4. 巻 104
2. 論文標題 空き家発生メカニズムと空き家タイプ～経済学的な視点から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市住宅学	6. 最初と最後の頁 12～16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 直井道生	4. 巻 21
2. 論文標題 回帰不連続デザインによる実証分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 社会と調査	6. 最初と最後の頁 92～99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masatomo Suzuki, Yasushi Asami	4. 巻 -
2. 論文標題 Tenant Protection, Temporal Vacancy and Frequent Reconstruction in the Rental Housing Market	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Real Estate Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1540-6229.12205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木雅智・浅見泰司	4. 巻 52
2. 論文標題 東京大都市圏郊外の中古住宅市場における需給バランス	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 514-520
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.52.514	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Daiji Kawaguchi, Norifumi Yukutake	4. 巻 99
2. 論文標題 Estimating the residential land damage of the Fukushima nuclear accident	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Urban Economics	6. 最初と最後の頁 148-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jue.2017.02.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Norifumi Yukutake, Yoko Moriizumi	4. 巻 -
2. 論文標題 Credit constraints and the delay of homeownership by young households in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Housing Markets and Analysis	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoi, M., P. Tiwari, Y. Moriizumi, N. Yukutake, N. Hutchison, A. Kovlyakova and J. Rao	4. 巻 -
2. 論文標題 Household Mortgage Demand: Role of Mortgage Market Institutions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Housing Markets and Analysis	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Iwata, S. and M. Naoi	4. 巻 15(4)
2. 論文標題 The Asymmetric Housing Wealth Effect on Childbirth	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Review of Economics of the Household	6. 最初と最後の頁 1373-1397
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計89件 (うち招待講演 13件 / うち国際学会 32件)

1. 発表者名 Kazuto Sumita, Katsuyoshi Nakazawa, and Akihiro Kawase
2. 発表標題 Long-term Care Facilities and Elderly Household Mobility in Japan: Empirical Analysis of the Micro-Level Survey
3. 学会等名 Urban Economics Workshop at the University of Tokyo 東京大学・都市経済ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小谷将之、行武憲史
2. 発表標題 固定資産税の減額措置の新築住宅促進効果
3. 学会等名 日本経済学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 直井道生・瀬古美喜・隅田和人・石野卓也
2. 発表標題 家計資産の世代間相関：JHPS第二世代付帯調査を用いた分析
3. 学会等名 住宅市場における世代間・地域間ミスマッチの解明：パネルデータによる経済分析」2021年度 ZOOM ワークショップ（科研費（基盤研究A）） 武蔵野大学政治経済研究所共催
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 直井道生
2. 発表標題 家計資産の世代間相関：JHPS第二世代付帯調査を用いた実証分析
3. 学会等名 マクロ・金融ワークショップ（一橋大学・オンライン）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Suzuki, M., Ong, S. E., Shimizu, C.
2. 発表標題 Disposition of Depreciating Properties by REITs
3. 学会等名 Asian Real Estate Society - American Real Estate and Urban Economics Association Joint Conference（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木雅智・川井康平・清水千弘
2. 発表標題 Discrimination against the atypical type of tenants in the Tokyo private rental housing market: Evidence from moving-in inspection and rent arrear records
3. 学会等名 応用地域学会 第35回研究発表大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木雅智・新井優太・清水千弘
2. 発表標題 COVID-19第一波前後に生じた潜在的な住宅選好の測定
3. 学会等名 日本都市計画学会学術研究発表会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 瀬古美喜・隅田和人・吉田二郎
2. 発表標題 空家対策特別措置法が家計の住宅の相続意思に及ぼす効果の分析
3. 学会等名 「住宅市場における世代間・地域間ミスマッチの解明：パネルデータによる経済分析（科研費（基盤研究A））」ZOOM ワークショップ
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 隅田和人
2. 発表標題 Long-term Care Facilities and Migration of Elderly Households : Empirical Analysis based on Micro-Data
3. 学会等名 「住宅市場における世代間・地域間ミスマッチの解明：パネルデータによる経済分析（科研費（基盤研究A））」ZOOM ワークショップ
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉田二郎・瀬古美喜・隅田和人
2. 発表標題 The Excess Housing Demand Induced by Inheritance Taxes
3. 学会等名 「住宅市場における世代間・地域間ミスマッチの解明：パネルデータによる経済分析（科研費（基盤研究A））」ZOOM ワークショップ
4. 発表年 2020年



1. 発表者名 石野卓也・直井道生・瀬古美喜・隅田和人
2. 発表標題 親からの資産移転期待と子供の資産蓄積
3. 学会等名 「住宅市場における世代間・地域間ミスマッチの解明：パネルデータによる経済分析（科研費（基盤研究A））」ZOOM ワークショップ
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石野卓也・直井道生・瀬古美喜・隅田和人
2. 発表標題 Parental Wealth Transfers and Children's Wealth Accumulation
3. 学会等名 日本経済学会2020年度春季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 瀬古美喜・石野卓也・隅田和人・直井道生
2. 発表標題 家計資産の世代間相関：親子パネル調査による実証分析
3. 学会等名 「住宅市場における世代間・地域間ミスマッチの解明：パネルデータによる経済分析（科研費（基盤研究A））」ZOOM ワークショップ
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石野卓也・直井道生・瀬古美喜・隅田和人
2. 発表標題 親からの資産移転期待と子供の資産蓄積
3. 学会等名 日本経済学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木雅智・浅見泰司
2. 発表標題 Shrinking housing market, long-term vacancy, and withdrawal from housing market
3. 学会等名 住宅経済研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木雅智・清水千弘
2. 発表標題 物件レベルの資料請求量を用いた首都圏中古マンション市場の需給バランスの測定
3. 学会等名 CSIS DAYS 2020：全国共同利用研究発表大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 奥村綱雄
2. 発表標題 部分識別の基礎について
3. 学会等名 横浜市立大学「ワークショップ（経済）」（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 瀬古美喜
2. 発表標題 日本の住宅市場と家計行動
3. 学会等名 佐藤ワークショップ（東京大学 駒場キャンパス）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬古美喜・隅田和人・吉田二郎
2. 発表標題 The Inheritance Tax and Household Mobility: an Exploration of Empty Nest Probl
3. 学会等名 日本経済学会 2019年度秋季大会 (神戸大学 六甲台第1キャンパス)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida
2. 発表標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests
3. 学会等名 Applied Economics Workshop (Keio University)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida
2. 発表標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests
3. 学会等名 55th AREUEA Annual Conference (Allied Social Science Association), "Housing and the Life Cycle" (Marriot Marquis San Diego Marina, CA, USA) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida
2. 発表標題 The Inheritance Tax and Household Mobility: An Exploration of Empty Nest Problem.
3. 学会等名 Workshop on Micro-econometric Analysis of Housing Market at Toyo University
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida
2. 発表標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests.
3. 学会等名 日本不動産金融工学学会 (JAREFE) 中央大学後楽園キャンパス
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida
2. 発表標題 The Inheritance Tax and Household Mobility: An Exploration of Empty Nest Problem.
3. 学会等名 Asian Real Estate Society, Hilton Shenzhen, China (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida
2. 発表標題 Bequest Motives, Inheritance Tax and Housing Choice: Imprecations for Empty Nest Problem.
3. 学会等名 Sokolov Real Estate Seminar Series at The Pennsylvania State University, U.S. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 M.Seko, K.Sumita, J.Yoshida
2. 発表標題 The Inheritance Tax and Household Mobility: An Exploration of Empty Nest Problem
3. 学会等名 15th International Conference of the Western Economic Association International (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 T. Ishino, M.Naoi, M. Seko, K. Sumita
2 . 発表標題 Parental Wealth Transfers and Children ' s Wealth Accumulation
3 . 学会等名 15th International Conference of the Western Economic Association International ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Naoi, M.
2 . 発表標題 Post-Disaster Assistance, Local Government Spending, and the Samaritan's Dilemma
3 . 学会等名 Econometrics Seminar (University of Southern California) ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 S.Yasuda, M.Naoi, N.Yukutake,
2 . 発表標題 Change in Public Risk Perception after a Large Disaster: Evidence from the Great East Japan Earthquake
3 . 学会等名 15th International Conference of the Western Economic Association International ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Suzuki, M., Asami, Y., Shimizu, C.
2 . 発表標題 Unit-level long-run dynamics of housing rents
3 . 学会等名 15th International Conference of the Western Economic Association International ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木雅智・Seow Eng Ong・浅見泰司・清水千弘
2. 発表標題 Long-run renewal of REIT property portfolio through strategic divestment
3. 学会等名 「資源配分と生産性に関する研究会」2019年ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 隅田和人・瀬古美喜・吉田二郎
2. 発表標題 家計の転居・住宅改修行動の実証分析：遺産動機をめぐって
3. 学会等名 応用地域学会2018年研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川光
2. 発表標題 International Capital Market and Repeated Tax Competition
3. 学会等名 日本応用経済学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kawachi Keisuke and Hikaru Ogawa
2. 発表標題 Equilibrium leadership in tax competition when capital supply is endogenous
3. 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岩田真一郎
2. 発表標題 Housing inheritance, financial assistance, and reciprocal interdependence
3. 学会等名 日本經濟学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岩田真一郎
2. 発表標題 Housing inheritance, financial assistance, and reciprocal interdependence
3. 学会等名 European Network of Housing Research ( 国際学会 )
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岩田真一郎
2. 発表標題 Housing inheritance, financial assistance, and reciprocal interdependence
3. 学会等名 Asian Real Estate Society ( 国際学会 )
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuto Sumita, Katsuyoshi Nakazawa, and Akihiro Kawase
2. 発表標題 Long-term Care Facilities and Elderly Household Mobility in Japan: Empirical Analysis of the Micro-Level Survey
3. 学会等名 Toyo - Marburg Workshop ( 国際学会 )
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Naoi, M.
2 . 発表標題 Natural Hazard Information and Migration across Cities: Evidence from the Nankai Trough Earthquake
3 . 学会等名 International Conference on Sustainable Development 2017 (Columbia University) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Suzuki, M., Ong, S. E., Asami, Y., Shimizu, C.
2 . 発表標題 Long-run renewal of REIT property portfolio through strategic divestment
3 . 学会等名 RIETI Research Meeting on Real Estate and the Macro Economy
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Suzuki, M., Ong, S. E., Asami, Y., Shimizu, C.
2 . 発表標題 Long-run renewal of REIT property portfolio through strategic divestment
3 . 学会等名 European Real Estate Society Annual Conference (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Suzuki, M., Ong, S. E., Asami, Y., Shimizu, C.
2 . 発表標題 Long-run renewal of REIT property portfolio through strategic divestment
3 . 学会等名 Asia Pacific Real Estate Research Symposium (国際学会)
4 . 発表年 2018年



1. 発表者名 Suzuki, M., Asami, Y., Shimizu, C.
2. 発表標題 Unit-level long-run dynamics of “sticky” housing rents
3. 学会等名 Hitotsubashi Workshop on Productivity, Real Estate, and Prices
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木雅智・Seow Eng Ong・浅見泰司・清水千弘
2. 発表標題 Long-run renewal of REIT property portfolio through strategic divestment
3. 学会等名 応用地域学会 第32回研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木雅智・浅見泰司・清水千弘
2. 発表標題 Unit-level long-run dynamics of housing rents
3. 学会等名 経済社会リスク研究機構研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 隅田 和人・瀬古 美喜・吉田 二郎
2. 発表標題 家計の転居・住宅改修行動の実証分析：遺産動機をめぐって
3. 学会等名 「住宅市場における世代間・地域間ミスマッチの解明：パネルデータによる経済分析」ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takuya Ishino, Miki Seko, Kazuto Sumita, Michio Naoi
2. 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heirs' Tenure Choice and Household Wealth Accumulation in Japan
3. 学会等名 「住宅市場における世代間・地域間ミスマッチの解明：パネルデータによる経済分析」ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takuya Ishino, Miki Seko, Kazuto Sumita, Michio Naoi
2. 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heirs' Tenure Choice and Household Wealth Accumulation in Japan
3. 学会等名 応用地域学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 T. Ishino, M. Seko, K. Sumita, M. Naoi
2. 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heir's Tenure Choice, Consumption and Savings in Japan
3. 学会等名 AsRES 2017 Annual Meeting- AsRES Fellow Research Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tatsuaki Kuroda
2. 発表標題 Supply Chain and Spatial Risk
3. 学会等名 Tianjin Forum 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kaifan Chen, Tatsuaki Kuroda
2. 発表標題 On the competition of cross-border tourism
3. 学会等名 57th Congress of the European Regional Science Association (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Keisuke Kawachi, Hikaru Ogawa, Taiki Susa
2. 発表標題 Does equalization transfer enhance partial tax cooperation?
3. 学会等名 Asian Seminar in Regional Science (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mizuki Komura, Hikaru Ogawa
2. 発表標題 Globalization, Gender Empowerment and Fertility
3. 学会等名 Asia Pacific Economic Association (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mizuki Komura, Hikaru Ogawa
2. 発表標題 Globalization, Gender Empowerment and Fertility
3. 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shinichiro Iwata
2. 発表標題 Housing assets and consumption among the Japanese elderly
3. 学会等名 Asian Real Estate Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩田 真一郎
2. 発表標題 Housing assets and consumption among the Japanese elderly
3. 学会等名 日本経済学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩田 真一郎
2. 発表標題 Housing inheritance, financial assistance, and a reciprocal interdependence
3. 学会等名 応用地域学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 隅田 和人
2. 発表標題 住宅価格変動の計量経済分析：住宅ローン減税の住宅価格への影響
3. 学会等名 (一社)住宅生産団体連合会「住宅政策勉強会」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 隅田 和人
2. 発表標題 Long-term Care Facilities and Elderly Household Mobility in Japan: Empirical Analysis of the Micro-Level Survey
3. 学会等名 日本経済学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuto Sumita
2. 発表標題 Long-term Care Facilities and Elderly Household Mobility in Japan: Empirical Analysis of the Micro-Level Survey
3. 学会等名 Asian Real Estate Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計19件

1. 著者名 浅見泰司, 薄井宏行 (編)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 古今書院	5. 総ページ数 234
3. 書名 あいまいな時空間情報の分析	

1. 著者名 Yasushi Asami, Yoshiro Higano, Hideo Fukui (eds.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 346
3. 書名 Frontiers of Real Estate Science in Japan	

1. 著者名 チャールズ・マンスキー [ 著 ]、奥村綱雄 [ 監訳 ]、高遠裕子 [ 訳 ]	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ダイヤモンド社	5. 総ページ数 347
3. 書名 マンスキー データ分析と意志決定理論 不確実な世界で政策の未来を予測する	

1. 著者名 奥村綱雄 他 [ 分担執筆 ]	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 184
3. 書名 [ 新版 ] 進化する経済学の実証分析	

1. 著者名 隅田和人, 岡本基, 岩澤政宗, 金燕春, 水村陽一, 吉田崇紘	4. 発行年 2020年
2. 出版社 オーム社	5. 総ページ数 270
3. 書名 ExcelとRではじめる やさしい 経済データ分析入門	

1. 著者名 直井道生	4. 発行年 2020年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 384
3. 書名 人口変動と家族の実証分析 ( 第3章「国内人口移動の現状と変動要因」分担執筆 )	

1. 著者名 Miki Seko	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature Singapore Pte Ltd.	5. 総ページ数 290
3. 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19	

1. 著者名 瀬古美喜	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 200
3. 書名 『本当に伝えたい経済学の魅力』 「4 データから市場の動きをとらえる」 “4-10 男女関係なく続けられる仕事を求めて” 『経済セミナー』	

1. 著者名 赤木正幸, 浅見泰司, 谷山智彦 (編)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 プロGRESS	5. 総ページ数 260
3. 書名 不動産テックを考える	

1. 著者名 浅見泰司, 齊藤広子 (編)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 プロGRESS	5. 総ページ数 228
3. 書名 マンションの終活を考える	

1. 著者名 瀬古美喜	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東洋経済新報社	5. 総ページ数 260
3. 書名 不動産政策研究 各論 国際不動産政策 (共著 不動産政策研究会)	

1. 著者名 直井道生	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東洋経済新報社	5. 総ページ数 296
3. 書名 不動産政策研究 各論 不動産経済分析 (共著 不動産政策研究会)	

1. 著者名 奥村綱雄	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 256
3. 書名 部分識別入門	

1. 著者名 瀬古 美喜	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東洋経済新報社	5. 総ページ数 75
3. 書名 既存住宅市場の活性化 (共著 一般財団法人 土地総合研究所)	



1. 著者名 瀬古 美喜	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 368
3. 書名 経済学者が贈る未来への羅針盤（共著 経済セミナー2018年3月号：増刊）	

1. 著者名 浅見 泰司・安藤 至大・親泊 哲	4. 発行年 2017年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 292
3. 書名 2016年改正 新しいマンション標準管理規約	

1. 著者名 瀬古 美喜・隅田 和人・直井 道生	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東洋経済新報社	5. 総ページ数 256
3. 書名 マイナス金利下における金融・不動産市場の読み方	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>・ホームページ 日本語版が<a href="https://www.musashino-u.ac.jp/gasr_research/">https://www.musashino-u.ac.jp/gasr_research/</a>、 英語版が<a href="https://www.musashino-u.ac.jp/gasr_research/en/">https://www.musashino-u.ac.jp/gasr_research/en/</a></p> <p>・受賞 新倉博明・直井道生・瀬古美喜 「持ち家取得時の情報収集行動と住宅満足度」 『2020年度日本不動産学会論文賞』日本不動産学会 2021年11月 安田昌平 「心理的バイアスがもたらす不動産価格評価のバイアス」 『論説賞』 資産評価政策学会 2021年6月 瀬古美喜 『2020年度JAREFE賞』日本不動産金融工学学会(JAREFE) 2021年2月 蛭田有希・浅見泰司 「ヘドニック回帰分析におけるモデル選択に対する情報提供を目的とした多重共線性のリスク診断」 『論文賞』都市住宅学会 2020年5月 石川徹・浅見泰司 「住宅地における用途の混在と性能規制に対する居住者の心理的評価に関する研究」 『論文賞』都市住宅学会 2018年5月 直井道生 『坂下賞』応用地域学会 2017年11月 鈴木雅智・浅見泰司 「借地借家法による空き家期間と機会費用の推定」 『論文賞』 都市住宅学会 2017年5月</p>
---

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	黒田 達朗  (Kuroda Tatsuaki)  (00183319)	椛山女子学園大学・現代マネジメント学部・教授    (33906)	
研究分担者	奥村 綱雄  (Okumura Tsunao)  (90323922)	横浜国立大学・大学院国際社会科学研究院・教授    (12701)	
研究分担者	小川 光  (Ogawa Hikaru)  (10313967)	東京大学・大学院経済学研究科(経済学部)・教授    (12601)	
研究分担者	岩田 真一郎  (Iwata Shinichiro)  (10334707)	神奈川大学・経済学部・教授    (32702)	
研究分担者	隅田 和人  (Sumita Kazuto)  (10350745)	東洋大学・経済学部・教授    (32663)	
研究分担者	行武 憲史  (Yukutake Norifumi)  (80804690)	日本大学・経済学部・准教授    (32665)	
研究分担者	直井 道生  (Naoi Michio)  (70365477)	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授    (32612)	
研究分担者	石野 卓也  (Ishino Takuya)  (10614034)	金沢星稜大学・経済学部・教授    (33301)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	新倉 博明  (Niikura Hiroaki)  (00823395)	武蔵野大学・経済学部・講師    (32680)	
研究分担者	鈴木 雅智  (Suzuki Masatomo)  (70847095)	東京大学・大学院経済学研究科（経済学部）・特任助教    (12601)	
研究分担者	安田 昌平  (Yasuda Shohei)  (10875686)	日本大学・経済学部・助教    (32665)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関